



会報254号

令和3年6月30日

富山県小学校長会

発行者 会長 水橋 渉

編集者 代表 棚田 賢也

印刷所 (株)橋本写真製版社

題字 小杉峰広 (富・奥田小)



## 仲間意識を高め、校長としての資質・能力を向上させる 富山県小学校長会に

会長 水橋 渉

昨年度、今後の富山県小学校長会の発展を願って、富山県小学校長会組織の改革・改善の内容が決まりました。今ご覧になっているリーフレットは、広報部の実務改善の一つです。これまで年に2回、冊子を発刊してきましたが、負担軽減と構成員数の減少等を理由に、年にリーフレット一部と冊子一冊を発刊することになりました。改革・改善することが形となって表れ、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

さて、令和3年度が始まって2か月あまりが過ぎようとしています。富山県小学校長会の全体研修会等が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続で中止に追い込まれました。県内の小学校の校長が顔と顔を突き合わせて、つながりを深めていく第一歩を踏み出す機会を失ったことは、非常に残念でなりません。ただ、この期間、学校休業となった小学校はないと聞いています。これは、各市、地区の校長会で、子供の命を最優先に、子供の学びを止めないことを基本方針にして、積極的に意見を交わし、情報の共有化を図り、自校に合った対策を見出したからだと考えます。予測不可能な時代で、難局に直面していることを誰もが感じています。学校行事に取り組む際の「子供たちを絶対に守るんだ」という教員の思いが、内容や方法の改善を図り、協働的な取組につながっていると感じています。思いが共通になったとき、組織力は高まります。富山県小学校長会を支えているのは、各市、地区の校長会の結束力です。

今、教育現場の喫緊の課題は、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善、教員の働き方改革、経営参画意識の向上、富山県の校長文化の継承、管理職の育成等、山積しています。今こそ、各部会、各研究委員会等で校長として、積極的に考えを出し合ひましょう。叡智を結集し、総力を上げて課題に向き合ひましょう。校長の資質・能力に上限はありません。すべての校長は、常に発展途上の段階にいます。できる限り多くの校長と関わり、刺激し合う中で、富山県小学校長会が仲間意識を高める場、自己研鑽に励む場になると信じています。

今後も皆様のご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。

